

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期北山村まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県東牟婁郡北山村

### 3 地域再生計画の区域

和歌山県東牟婁郡北山村の全域

### 4 地域再生計画の目標

本村の人口は、この65年間で約1,050人減少しており、住民基本台帳によると2024年には381人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2070年には総人口が119人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態について、1960年と2020年で比較すると、年少人口（0～14歳）は35.4%から10.0%に、生産年齢人口（15～64歳）は54.8%から45.0%に減少している。

自然動態をみると、2000年以降出生数が死亡者数を上回ったのは2015年のみとなっており、2024年の出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲9人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2003年に転入が転出を大きく上回っていたが、2007年には逆転し転出が増加した。その後は転入・転出が拮抗していたが、2022年には転出が転入を大きく上回った。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響がこれまで以上に懸念される。

これらの課題に対応するための政策の1つとして、北山村独自の子育て支援施策を推進することで、村全体で子どもと子育て世帯を支える体制を整え、村民の

結婚・妊娠・出産・子育てへの希望の実現を図り、自然増につなげる。

あわせて、本村の特産品である「じゃばら」や、全国唯一のアクティビティ「北山川観光筏下り」を軸とした地域づくりを進めることで、地域産業の振興と雇用の場の創出を図る。これらの取組を通じて、村内外の人材が北山村で働き、暮らし続けたいと思える環境を整え、移住・定住の促進につなげることで、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 賑わいのあるむらづくり
- ・基本目標2 心豊かな人を育てるむらづくり
- ・基本目標3 健康で笑顔の絶えないむらづくり
- ・基本目標4 快適で安全なむらづくり
- ・基本目標5 未来へとつながるむらづくり

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	機能性表示取得	なし	取得	基本目標1
	じゃばら商品数	26個	31個	
	じゃばらSNSフォロワー数	6,900人	10,000人	
	じゃばら生産量(年間)	110t	130t	
	新規就農者数(累計)	—	1人	
	獣害ネット補助活用件数(年間)	4件	5件	
	筏乗船者数	6,871人	9,000人	
	PRイベント出展(年間)	5回	8回	
	観光SNSフォロワー数(累)	15,815人	30,000人	

ア	計)			基本目標 1
	筏師人数	16人	18人	
	観光ツアー件数 (年間)	0件	2件	
	誘客イベントの開催 (年間)	2回	3回	
	観光入込者客数 (年間)	50,000人	70,000人	
	新観光コンテンツ (累計)	—	2	
	おくとろ公園再整備	—	完成	
	森林整備面積 (年間)	70ha	90ha	
	新規林業従事者数 (累計)	—	3人	
	林道総延長 (累計)	14,883m	15,883m	
	素材生産量 (年間)	600m <sup>3</sup>	800m <sup>3</sup>	
	空き家利用件数 (年間)	0件	1件	
	移住人口 (累計)	61人	65人	
	移住相談会への出展 (年間)	2回	4回	
	Uターン支援制度の活用 (年間)	—	1件	
イ	大学・企業との連携 (年間)	3団体	5団体	基本目標 2
	村のSNSによる発信 (年間)	0回	24回	
	ママカフェの開催 (年間)	3回	3回	
	保育所受け入れ低年齢化	2歳児	満1歳児	
	保育所、小中学校での避難訓練 (年間)	1回	1回以上	
和歌山信愛大学との連携事業 (年間)	3回	5回		
学校生活アンケート	71.4%	80%		

イ	学力調査における個人の 学力の向上	60%	80%	基本目標 2
	英検 3 級合格率	100%	100%	
	他校・他自治体との交流 事業（年間）	3 回	3 回	
	地域・大学等との交流事 業（年間）	5 回	5 回	
	中学校改修	—	実施	
	社会教育団体（サークル） の認定数（累計）	4 団体	8 団体	
	社会教育関連行事・講座 等の実施数（年間）	8 回	8 回	
	図書室の来館者数（年間）	662人	700人	
	図書貸出冊数（年間）	1,445冊	2,000冊	
	歴史伝統文化コーナーの 設置	—	新設	
	広報誌を活用した啓発（ 年間）	—	4 回	
	研修会実施回数（年間）	2 回	4 回	
ウ	特定健診受診率（国保）	71.7%	75%	基本目標 3
	特定保健指導実施率（国 保）	0%	100%	
	特定健診受診率（後期高 齢）	41.7%	50%	
	健康状態不明者等割合（ 国保）	10.4%	5%	
	高血圧予防事業への参加 者（年間）	26人	40人	
	地域ケア会議の開催回数	2 回	2 回	

ウ	(月)			基本目標 3
	地域医療研修センター受 入数 (年間)	18人	20人	
	介護予防教室・運動プロ グラム参加者数 (年間)	663人	680人	
	健康相談の参加者数	190人	210人	
	介護予防事業への新規参 加者数	4人	10人	
	要介護認定者の在宅生活 継続割合	46.8%	50%	
	自立年齢	87.8歳	89歳	
	介護福祉士等資格取得支 援制度の利用者数	—	2人	
	地域たすけあいサービス 提供会員数	2人	5人	
	民生委員数	5人	5人	
	成年後見制度に関する制 度啓発 (年間)	0回	1回	
エ	空き家実態調査の実施	1回/3年	1回/3年	基本目標 4
	空き家適正管理の啓発 (年 間)	1回	2回	
	空き家利活用実績 (年間)	0件	1件	
	民生委員による活動件数 (年間)	18件	24件	
	ごみ減量化・分別の啓発 (年 間)	2回	6回	
	合併浄化槽設置補助件数 (年間)	0件	1件	
	耐震診断件数 (累計)	10件	25件	

エ	住宅耐震改修事業費補助 件数（累計）	0 件	5 件	基本目標 4
	備蓄食料	90%	100%	
	防火用水（累計）	6 カ所	8 カ所	
	軽積載車（累計）	1 台	3 台	
	ジェットシューター（累 計）	10台	40台	
	消防団による訓練実施回 数（年間）	2 回	4 回	
	除却補助件数（年間）	2 件	3 件	
オ	北山村公式LINE等利用者 数（累計）	300人	350人	基本目標 5
	適正利用に関するガイド ライン策定	—	策定	
	経常収支比率	84.8%	80.0%	
	村税収納率	98.8%	100%	
	ふるさと納税寄付額（年 間）	4.5億円	4.5億円	
	企業版ふるさと納税寄付 件数（年間）	1 件	1 件	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

## 第2期北山村まち・ひと・しごと創生推進事業

### ア 賑わいのあるむらづくり事業

### イ 心豊かな人を育てるむらづくり事業

### ウ 健康で笑顔の絶えないむらづくり事業

### エ 快適で安全なむらづくり事業

### オ 未来へとつながるむらづくり事業

## ② 事業の内容

### ア 賑わいのあるむらづくり事業

地域に受け継がれてきた資源や伝統行事を大切にしながら、人が集い交流が広がる環境づくりを進めるとともに、地域産品や観光の魅力向上、村内外の人々が関わりやすい仕組みづくり、村とゆかりのある人々や周辺地域に暮らす人とのつながりの拡大を通じて、地域経済の活性化と持続的な賑わいの創出を図る事業。

#### 【具体的な事業】

- ・ じゃばらの振興
- ・ 北山川観光筏下りの振興
- ・ 観光・商工の振興
- ・ 林業の振興
- ・ 移住・定住の推進
- ・ 関係人口の創出拡大 等

### イ 心豊かな人を育てるむらづくり事業

子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる環境を整えるとともに、少人数学級の特長や本村が特に力を入れているふるさと教育活動を生かしながら一人ひとりの学びと育ちを支え、さらに、近隣自治体や大学等との交流を通じ、多様な価値観に触れる機会を確保することで、次代を担う子どもたちが自らの力で生きる力を育む教育を推進する事業。

#### 【具体的な事業】

- ・ 子育て支援の充実
- ・ 学校教育の充実
- ・ 社会教育の充実

- ・共生社会の推進 等

#### ウ 健康で笑顔の絶えないむらづくり事業

住民一人ひとりが健康で安心して暮らし続けられるよう、予防医療及び介護予防を中心とした健康づくりや生活習慣病予防、地域における介護予防の取組を推進するとともに、医療・保健・福祉の連携により、見守りや相談が受けやすい体制を整え、住み慣れた地域で健やかに暮らし続けられるむらづくりを進める事業。

##### 【具体的な事業】

- ・健康づくりの推進
- ・高齢者福祉の充実
- ・地域福祉の充実 等

#### エ 快適で安全なむらづくり事業

道路や住宅、生活に欠かせない施設の整備を計画的に進めるとともに、防災・減災の取組を強化し、災害に備えた体制を整えることで安全で暮らしやすい環境の維持を図り、さらに情報発信や生活の利便性向上のために公共交通のあり方等を検討しながら、だれもが安心して暮らせる快適なむらづくりを実現する事業。

##### 【具体的な事業】

- ・居住環境の整備
- ・防災消防対策 等

#### オ 未来へとつながるむらづくり事業

デジタル技術の活用による行政事務の効率化と住民サービスの向上、行政情報の発信強化や手続の見直しによる柔軟な行政体制の構築を進めるとともに、事業の効果検証や自主財源の確保を通じて健全な財政運営を図り、持続可能な村づくりを推進する事業。

##### 【具体的な事業】

- ・効率的な行政サービスの推進
- ・健全な財政運営の推進 等

※ なお、詳細は第3期北山村まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

300,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月頃に外部有識者による効果検証をおこなうとともに、検証をもとに翌年度以降の取組方針を決定するように努める。検証後速やかに本村公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

**6 計画期間**

2026年4月1日から2031年3月31日まで